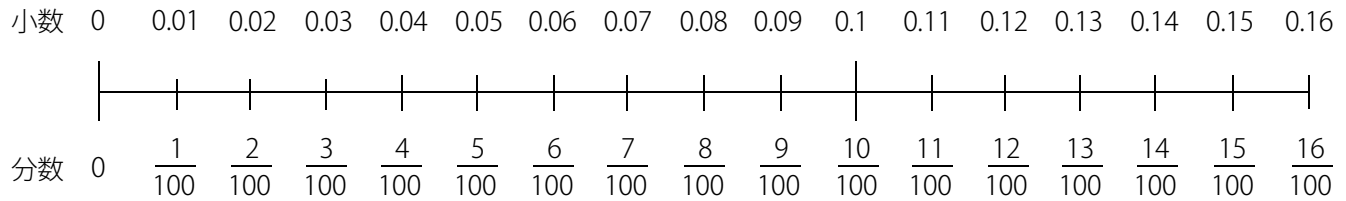




例題と解説

0.1よりも小さな数と分数の関係を表しています。



0.01と $\frac{1}{100}$ はともに0.1を10等分（ $\frac{1}{10}$ に）しているので、大きさは同じであることがわかります。

0.01は「れい てん れい いち」と読みます。また0.01の1をしょうすうだいに い小数第二位といいます。

0.01と $\frac{1}{100}$ は同じなので $0.01 = \frac{1}{100}$ です。

0.05と $\frac{5}{100}$ は同じなので $0.05 = \frac{5}{100}$ です。

0.13と $\frac{13}{100}$ は同じなので、 $0.13 = \frac{13}{100}$ です。

0.01の $\frac{1}{10}$ （10等分）は0.001です。

1の $\frac{1}{10}$ （10等分）は0.1

つまり1は0.1が10個分です。

0.1の $\frac{1}{10}$ （10等分）は0.01

0.01は1の $\frac{1}{100}$ （100等分）

つまり1は0.01が100個分です。

0.01の $\frac{1}{10}$ （10等分）は0.001

0.001は1の $\frac{1}{1000}$ （1000等分）

つまり1は0.001が1000個分です。

0.001の $\frac{1}{10}$ （10等分）は0.0001

0.0001は1の $\frac{1}{10000}$ （10000等分）

つまり1は0.0001が10000個分です。



例題と解説

例題 1

0.1mの $\frac{1}{10}$ は□mです。□にあてはまる小数を答えなさい。

答え 0.01

[例題 1 の解説]

0.1の $\frac{1}{10}$ は0.01です。

例題 2

□にあてはまる小数を答えなさい。

- (1) 0.07は0.01が□個分です。
- (2) 0.16は0.01の□倍です。
- (3) 2は0.01が□個分です。
- (4) 3.14は0.01の□倍です。
- (5) 0.6は0.01が□個分です。

答え (1) 7 (2) 16 (3) 200 (4) 314 (5) 60

[例題 2 の解説]

- (1) 0.07は0.01が7個分(7倍)です。
- (2) 0.16は0.1と0.06でできています。0.1は0.01が10個分です。0.06は0.01が6個分です。
よって0.16は0.01の16倍(16個分)です。
- (3) 1は0.01が100個分なので、2は0.01が200個分です。



例題と解説

(4) 3は0.01の300倍(300個分)です。0.1は0.01の10倍(10個分)です。0.04は0.01の4倍(4個分)です。
よって $300+10+4=314$ なので、3.14は0.01の314倍(314個分)です。

(5) 0.1は0.01が10個分なので、0.6は0.01が60個分です。

例題3

1が3個、0.1が2個、0.01が4個、0.001が5個集まってできる小数を答えなさい。

答え 3.245

[例題3の解説]

1が3個で3、0.1が2個で0.2、0.01が4個で0.04、0.001が5個で0.005です。

3と0.2と0.04と0.005なので3.245となります。

$$\begin{array}{r} 3 \\ 0.2 \\ 0.04 \\ 0.005 \\ \hline 3.245 \end{array}$$

例題4

次の数を小さい順にならべなさい。

0 0.01 0.1 0.09 0.003

答え 0 0.003 0.01 0.09 0.1

[例題4の解説]

0 0.003 0.01 0.09 0.1



ポイントまとめ

- 0.01の1を しょうすうだいに い 小数第二位といます。
- $0.01 = \frac{1}{100}$
- 0.01の $\frac{1}{10}$ (10等分) は0.001です。